

陸上自衛隊入隊予定者、三宿駐屯地を見学



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・宮川知己一等空佐）は、2月19日（火）、陸上自衛隊三宿駐屯地（東京都世田谷区）で行われた部隊見学に入隊予定者を引率した。

この部隊見学は、今春陸上自衛隊へ入隊する予定者とその保護者を対象に、隊員が働く現場やその環境を見学してもらい、陸上自衛隊への理解を深めるとともに、入隊前の疑問や不安を軽減し入隊意欲を促進することを目的に、東部方面総監部が開催した。東方面内の都県から60人以上が参加した。

参加者は、都内の公園の中でも人気を誇る世田谷公園に隣接した三宿駐屯地に集合し、まずは衛生学校から見学をスタート。陸上自衛隊の概要をはじめ、同校の教育内容や災害派遣の実績などについて詳しく聞いた後、衛生教導隊に移動し野外手術システム車や救急車を見学した。隊員の実演により担架の運搬要領や衣服を代用した応急担架の作成要領なども行われ、参加者は最近話題となっている「いざという時の自衛隊のノウハウ」に興味深く見入り、今後の参考にしているようだった。

午後は自衛隊中央病院において病院機能の概要説明を聞いた後、外来棟、救急病棟、入院病棟を回り、最後に都内を一望できる屋上ヘリポートを見学した。参加者は、大学病院のような充実した施設や、近隣住民も通院可能なこと、ヘリポートに自衛隊の大型輸送ヘリコプターが離着陸できることなどを知り驚きの声を上げて感心していた。

終了後、参加者からは「自衛隊内に病院があるのを初めて知った」「入隊後の希望業務をまだ決めていないが、衛生職種に興味を持った」などの声が聞かれ、入隊意欲が高揚した様子であった。

静岡地本は、今後も部隊と連携して駐屯地見学等があることを積極的に紹介し、自衛官を目指す若者の夢の実現に全力を尽くしていく。

御殿場高校2年生とのOB懇談会に陸士長が参加



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・宮川知己一等空佐）は3月18日（月）、静岡県立御殿場高等学校（御殿場市）の依頼を受け、同校で開催された「平成30年度2年生OB・OG懇談会」に、情報システム科を平成29年3月に卒業し、陸上自衛隊北部方面隊第73戦車連隊で勤務している西方悠斗陸士長に参加してもらった。

懇談会には会社員や大学生になった卒業生が講師として参加しており、それぞれが少人数のグループに分かれた2年生と懇談した。

西方士長は現在、北海道の南恵庭駐屯地で戦車の操縦手として訓練に励んでいることから、戦車部隊の訓練や北海道胆振東部地震での災害派遣をはじめ、日常生活などを後輩たちに紹介し、自衛官という職業の魅力を伝えた。生徒たちからは、「自衛隊を選んだ理由」「今までに一番うれしかったこと」「就職後に大きく変わったこと」「学生時代にやっておけば良かったこと」などの質問があり、自衛隊への興味が更に深まった様子だった。

静岡地本は、将来を担う生徒たちに自衛隊の活動を積極的に広報し、自衛官を職業の選択肢のひとつとして考えてもらえるよう引き続き講話などを実施していく。